

# EA166AK(エアリッターキット)取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全にご使用頂きますためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

Ver.1.1

- ・全長…273mm
- ・ストローク…14mm
- ・重量…1.5kg
- ・リベットセット能力…2.4mm、3.2mm、4mm、4.8mm
- ・使用圧力…0.62MPa
- ・エア消費量…225L/min
- ・吸入口…1/4"

## 注意

- ・適正な圧力と適正な仕様スピードが最良の作業効率をもたらします。コンプレッサーの適性ゲージ圧力は6.2barです。使用範囲は5~7bar(70~100psi)です。
- ・エアーツールとコンプレッサーの間のホースは3/8"をご使用ください。エアーツールとコンプレッサーの間にはフィルターとオイルを設置してください。できれば3HP以上のコンプレッサーをご使用ください。
- ・使用前にホースをコンプレッサーの圧縮空気ですら掃除しますと、湿気とホコリが除去できます。ホースを延長して使用するほど(25ft以上)、ラインの圧力も相応してあげなければなりません。
- ・使用に際しては良好な状態でソケットやアダプターを使用してください。
- ・作業時は必ずセーフティグラス、イヤーマフ、防塵マスク、手袋を着用してください。
- ・作業現場は必ず換気をよくしてください。
- ・動力源が故障した場合はエアーツールをはずしてください。
- ・リベット作業を熟知した方が作業を行ってください。

### ● 使用方法

エアーツールのON/OFFはグリップ部のスイッチによって行います。スイッチのバーを押さえてスイッチレバーを握りこみます。スイッチを押している間は、ツールが作動します。停止はスイッチを離してください。安全のためにツールが完全に停止した後で収納場所に置いてください。

### ● 本体の組立

安全の為、本体に必ず安全キャップと安全ナットを取り付けてください。

ノズルピースを交換する時は付属のレンチを使用してください。



○ 安全キャップにリッターの切れ端が溜まりきる前に取り出して、キャップを空にしてください。

### ● 安全について

ご使用中、できる限りの安全防護(安全メガネ、防塵マスクなど)をお勧めします。

● メンテナンス

工具を接続する前に#60くらいのスピンドルオイルを接続口から4～5滴たらししてください。粘度の高いオイルを差しますと、機能が十分発揮されなくなりますので、もし、誤って粘度の高いオイルを差した時は、洗い流して適正オイルを差してください。3～4時間の作業ごとにオイルをさすと、工具が長持ちします。

● 保管

- ・使用後は水分や汚れを拭き取り乾燥させて、オイルをさしてください。
- ・使用しないときはコンプレッサーホースから工具を外してください。
- ・保管に際しては湿気のある所は避けてください。湿気があると工具内部にサビが発生します。



**絶縁されていませんので電源に接触しないように注意して作業してください。**



**火災・爆発要因ある環境下では、パワーツールは使用しないでください。**



**ホースをつけたままエアーツールを移動させないでください。**



**また圧力のかかったホースには注意してください。**



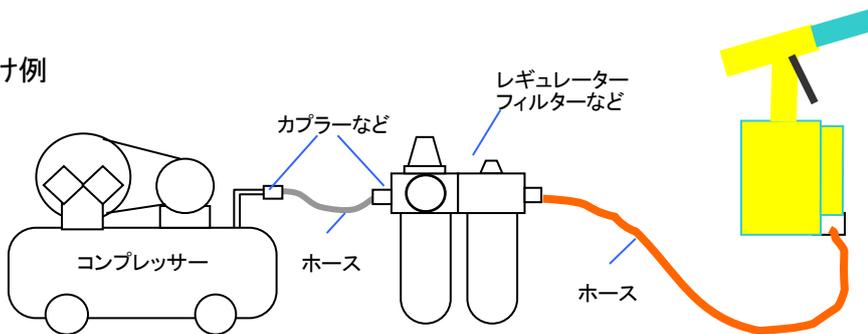
**作業対象物は必ず適正な工具に固定してください。**

**適正サイズのディスクを使用してください。**

**ホイールカッターなどは使用しないでください。**

**ディスクの周速は本体回転速度より速くなりますので注意が必要です。**

● 取り付け例



**安全上の注意**

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。説明された用途以外の使用は厳禁です。

- ・作業場の照明は充分明るくしてください。
- ・作業場には子供を近づけないでください。
- ・無理な使い方はしないでください。作業にあったエアーツールを使用してください。工具の能力と作業にあった速度、トルクを選んでください。
- ・作業時は作業に適した服装をしてください。だぶついた作業服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具類は回転部に巻き込まれます。長い髪も危険ですので帽子をかぶるようにしてください。手袋を使用するときは、巻き込まれないような品で、すべらない手袋を着用してください。
- ・作業時には必ず防塵用ゴーグルを併用してください。粉塵の多い所では防塵用マスクも併用してください。
- ・加工物をしっかりと固定し、両手で工具を使用してください。手で加工物を保持すると危険です。
- ・作業工具は注意深く手入れをしてください。エアーツール、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保ってください。
- ・次の場合はスイッチを切りエアーツールを外してください。
  - ① ソケットの取り付け、交換
  - ② 作業終了時
  - ③ 異常を感じたとき
- ・エアーツールを運ぶときは、エアーツールを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- ・エアーツールを使用するときは、取り扱い方法、作業方法、周りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- ・作業前には、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に、異常、損傷がないか確認してください。